

# 入所施設を出て地域で自立する！ ～強度行動障害のあるCYさんの挑戦～

社会福祉法人 創思苑  
林 淑美



# 社会福祉法人 創思苑とは

## はたらくところ



▶ クリエイティブハウス  
パンジー



▶ クリエイティブハウス  
パンジーⅡ



▶ クリエイティブハウス  
パンジーⅢ



▶ クリエイティブハウス  
パンジーⅤ

## 発信するところ



▶ パンジーメディア

## サポートするところ



▶ 自立生活支援センター  
わくわく



▶ 相談支援センター  
わくわく

## くらすところ



▶ 自立ホーム つばさ

# 創思苑がめざしてきたこと

- 自分で決める（自己決定）支援
- 当事者活動の支援
- どんなに障害が重くても地域で暮らす支援
- 職員の質を高める
- 安定した運営基盤



ピープルファースト  
私たちもひとりの人間

1974年10月



アメリカ・ピープルファースト大会(1974年)

ぜんこくのなかまたち、  
あつまろう！

ぜんこくちできしょうがいしゃこうりゆうしゅうかい  
全国知的障害者交流集会に参加しませんか

10月 27(木)・28(金)

なぜ、このような話し合い

「これまでのわたしの」

全国知的障害者交流集会の誘い (1994年)

おや、せんせい  
先生に+

たいかい  
第25回 <sup>たいかい</sup>ピープルファースト大会 in 大阪

じぶん えら き  
自分で選んで決めるぞ

第25回 ピープルファースト大会 (2019年)



# ピープルファーストが めざしてきたこと

- 入所施設をなくす
- 仲間を増やす
- 差別や虐待をなくす
- 自立生活をするための地域のサービスをふやす

# ピープルファースト大会in大阪

## 10月13日～14日

### 全体会のテーマ

- 入所施設をなくそう  
海外のピープルファーストのリーダーから入所施設をなくした話を聞き、日本で何ができるかを話し合う
- 差別や虐待を許さない  
津久井やまゆり園のこと 優生保護法のこと  
あすなる福祉社会のこと



# 強度行動障害のある CYさんの挑戦

# 地域移行支援の実績

- 地域移行支援センターわくわく  
2007年10月から2011年3月  
入所施設からの地域移行10人
- 障害者を地域で支えるモデル体制づくり  
2009年8月から2010年10月
- 金剛コロニー地域生活移行支援推進事業  
2011年8月から2012年2月

# まず、始めたこと

地域生活移行プロジェクト作り

2022年4月から

# プロジェクトの目的

- 砂川厚生福祉センターに入居しているCYさんの地域での自立生活を実現する。
- 目標達成のための期限は1年間とし、社会福祉法人・創思苑が主要な受け入れ事業所となり、CYさんのニーズに合った自立生活を支援する。
- 市内で支援をしている福祉サービス事業所や行政機関などが関わり、CYさんの地域での自立生活支援ネットワークを構築する。
- CYさんの地域生活移行支援を通して、障害の重い人の地域での自立生活のために求められる生活/日中活動支援・住宅環境・地域社会などの社会資源、連携の仕組みや支援プロセスを明らかにする。
- CYさんの自立生活支援における自治体や国によるサービス基盤整備のための方法を明らかにする。
- CYさんの地域移行支援プロジェクトの成果と課題を踏まえて、障害の重い人の脱施設化や自立生活支援のための政策提言を行う。

# プロジェクトの構成

- 自立支援協議会 …… 事業の進捗報告
- 地域生活移行プロジェクト会議  
プロジェクトの目的が円滑に進んでいるかの確認。  
地域生活移行を進めるにあたっての連携やシステムフロー図等の検討と提言。
- 支援検討会  
CYさんが安心して地域で暮せることをめざす。体験と支援検討会を繰り返し、  
地域生活を送るうえでの課題・支援の検討を行う。  
原則、体験の後には支援検討会を行い、次の体験に向けての課題整理などを行う。  
体験は、徐々に泊数を増やすことや移動支援時などに幅を広げる。  
支援は、砂川厚生福祉センターの職員から、徐々に地域生活を支援する創思苑の職員に  
引き継ぐ。

# CYさんプロフィール

- 1980年4月9日に東大阪で生まれました。  
発達障害があり、3才の時自閉症と診断されました。
- 小学校から支援学校に通います。
- 高等部の頃から暴力が多くなり、家庭で過ごすことが難しくなりました。  
17歳で、障害児の入所施設へ入ります。
- 33歳の時に、一度地域で暮らす挑戦をしましたが上手くいきませんでした。  
そして、再び入所施設で暮らすことになったのです。

「大空へはばたこう～自立への挑戦～」前編 （台本から抜粋）  
パンジーメディア「第79回きぼのつばさ」 <https://pansymedia.com/>



# CYさんの自立生活体験 1

- 第1回体験 2022年6月27日  
新しい人と環境に慣れてもらう。  
半日の過ごし方を探る。
- 第2回体験 8月24日  
1日の過ごし方を探る。  
コンビニに買い物に行った時、レジで大きい声ができる  
何度も行きたいと訴える。

# CYさんの自立生活体験 2

- 第3回 9月28日

まず、スケジュールの確認をする。

コンビニは昼食後に行くことを理解してもらおう。

移行後に暮らす予定のGHに1泊するために向かう。

大きい声に苦情が入り、ショートステイに移動する。

- 第4回 10月26日

ショートステイに1泊する。

職員との関係に安心と信頼が芽生え始めた。

# GHへの入居から重度訪問介護の利用へ

- 集合住宅の中にあるGHには、入居者2人（CYさんを含む）と介護者の3人で暮らすことを想定していた。
- 体験でわかったこと  
CYさんは、自分の行動を止められることに強く反応することがある。  
CYさんの大きい声と強いこだわりが、本人・同居者・介護者に影響を及ぼす可能性がある。  
クレームが多くなると、GHの転居を迫られる可能性もある。
- 障害者権利条約19条について  
だれとどこで住むか、だれが支援をするかの視点から再考をする。

# CYさんの自立生活に向けて 1

- 第5回体験 2023年3月1日から1泊  
この時から砂川厚生福祉センターの職員は送迎のみ。  
コロナの関係で4カ月ぶりの体験だったが、  
落ち着いて過ごすことができた。
- 第6回体験 4月12日から2泊  
自立生活を想定して関われる人を増やす必要があるため、  
2泊目は、他の職員が一人でCYさんと泊まる。
- 4月中に入居予定の住宅改修  
防音対策・・・180万円の補助金。

# CYさんの自立生活に向けて 2

- 5月12日から2泊  
改修が終わったCYさんの家に宿泊する。
- 6月6日から3泊  
この間に、4時間から5時間の外出を試みる。
- 7月初旬  
入所施設を出て地域で自立する！

# 重度訪問介護の時間数について

以下の考えで話し合いを重ねている。

- 見守り支援は常時必要であるが、見守りと両立することが困難な時間がある。この時間は2人対応が必要（以下に標準時間も記載）。  
食事（準備・片付けを含め朝60分、昼60分、夕90分） 入浴（準備・片付けを含め60分） 室内清掃（整理整頓を含む週3回 60分） 散歩30分  
買い物（週2回60分） 洗濯（1日2回 30分×2）  
起床時・就寝時ベッドメイキング等（1日2回 30分×2）
- 本人の希望を十分に感じ取り、週末は外出機会を持つことが必要だと考える。  
外出時のトイレ介助、交通機関利用支援、食事介助などを考えると  
当面2人のヘルパー同行が必要である。  
外出支援（5h×4回 20時間）